

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 29日

静岡県知事 川 勝 平 太 殿

提出者

住 所 静岡市駿河区国吉田1丁目7番37号

氏 名 木内建設株式会社

代表取締役 木内 藤 丈

電話番号 054-264-7117

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量  
その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	木内建設株式会社(作業所他短期工事分)
事業場の所在地	市内を除く中部管轄
計画期間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業(D06)
② 事業の規模	245億円
③ 従業員数	255名(正社員205名、それ以外の職員50名)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	自社 → 収集運搬業者 → 処分業者

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物責任者・産業廃棄物担当者

建築部・土木部管理責任者

作業所管理責任者

## 産業廃棄物の排出の制御に関する事項

①現 状	【前年度( 3 年度 )実績】		※別紙参照
	産業廃棄物の種類	16種類	
	排 出 量	16,100.57 t	
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ごみの分別化</li> <li>・ ISOに基づくごみの減量化</li> </ul>			
②計 画	【目標】		※別紙参照
	産業廃棄物の種類	11種類	
	排 出 量	15,226.74 t	
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建設梱包資材の省略化</li> </ul>			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現 状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず ・ 紙ダンボール ・ 木材 ・ その他
②計 画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別収集の徹底

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現 状	【前年度(      年度 ) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現 状	【前年度(      年度 ) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現 状	【前年度( 年度 ) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現 状	【前年度( 3 年度 ) 実績】		
	産業廃棄物の種類	16種類	
	全 処 理 委 託 量	16,100.57 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2,212.16 t	t
	再生利用業者への処理委託量	14,587.09 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>電子マニフェスト採用願い</li> </ul>			

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	11種類	
	全 処 理 委 託 量	15,226.74 t	t
	優良認定処理業者 への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	14,869.61 t	t
	認定熱回収業者へ の 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル率の高い処理業者に委託する</li> </ul>			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数 令和元年6月18日業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。  
また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

### 静岡市内を除く中部管轄

	廃棄物の種類	【令和3年度実績】	【令和4年度目標】	単位	処理方法
安定型 品目	コンクリートがら	10,221.29	9,700.00	t	産廃処理会社委託
	アスコンがら	1,990.27	1,888.76	t	産廃処理会社委託
	その他がれき類	317.61	300.00	t	産廃処理会社委託
	ガラス・陶磁器くず	170.41	162.00	t	産廃処理会社委託
	廃プラスチック類	68.62	65.00	t	産廃処理会社委託
	金属くず	5.02	5.00	t	産廃処理会社委託
	混合(安定型のみ)	25.81	0.00	t	産廃処理会社委託
	石綿含有(安定型)	0.00	0.00	t	産廃処理会社委託
管理型 品目	建設汚泥	42.65	40.52	t	産廃処理会社委託
	紙くず	0.00	0.00	t	産廃処理会社委託
	木くず	1,349.14	1,280.00	t	産廃処理会社委託
	繊維くず	0.30	0.00	t	産廃処理会社委託
	廃石膏ボード類	465.60	440.32	t	産廃処理会社委託
	混合(管理型含む)	376.98	357.13	t	産廃処理会社委託
	石綿含有(管理型)	21.68	0.00	t	産廃処理会社委託
	廃蛍光管	1,040.02	988.02	t	産廃処理会社委託
特管	廃石綿等	4.80	0.00	t	
	廃油	0.37	0.00	t	
	廃アルカリ	0.00	0.00	t	
	廃酸	0.00	0.00	t	
合 計		16,100.57	15,226.74	t	